

磐田アマチュアボクシング協会

加盟人数 83名

代 表 者 佐藤 文俊

創 立 年 平成14年 4 月

「協会の歩みと沿革」

- 平成14年 ・ 竜洋ボクシング教室としてボクシング教室を開始する。
- ・ わかふじ国体強化合宿を旧竜洋町で行う。
- 平成15年 ・ 練習場を竜洋体育センターに移動し、練習を開始する。
- ・ 元シドニー・アトランタオリンピックフライ級・バンダム級日本代表辻本和正を招き、特別指導・講習会を開催する。
- ・ わかふじ国体本大会に旧竜洋町から静岡県代表として、青島卓也がフライ級で出場する。
- ・ この年、正式に竜洋町体育協会へ加盟する。
- 平成16年 ・ 競技の枠を越え、元体操選手で跳び箱世界記録保持者池谷直樹を招き体操教室を開催する。
- ・ 元WBA王者現日本テレビボクシング解説者セレス小林を招きボクシング教室、講演会を開催する。講演には、100人を越す人で大盛況だった。
- ・ 青少年健全育成に力を入れるべく、少年部を開設する。
- 平成17年 ・ 磐南5市町村合併に伴い、新磐田市体育協会へ編入し、磐田アマチュアボクシング協会として正式に発足した。
- ・ 市町村合併を記念し、磐田市総合体育館にて、県民スポーツ祭ボクシング競技が磐田市ではじめて開催される。
- ・ 岡山国体に旧竜洋町の薩川知成がライト級で、静岡県代表として本大会に出場し、見事第3位の成績を残す。
- ・ 元WBA世界ライトフライ級王者山口圭司氏が、特別指導者として、指導及び講習会を開催する。
- ・ 青少年健全育成をスローガンに青少年を対象としたボクシング競技を安全にゲーム的に面白く行える。セーフティ

ボクシングC－BOX普及委員会を発足させる。

- ・ この年、第1回大会として委員長の池田宏一郎氏の協賛による池田杯が開催される。

- 平成18年 ・ セーフティボクシング第1回磐田市長杯が開催される。
- ・ 通年ボクシング教室を開始する
- ・ 沖縄県アマチュアボクシング連盟と磐田アマチュアボクシング協会の親睦交流会を開催する。

- 平成19年 ・ 地域奉仕活動の一環として、市内老人ホームや障害者施設を訪問し、ボクシングの運動を利用した健康運動を開始する。
- ・ 県秋季選手権大会で後藤選手が勝利する。

- 平成20年 ・ セーフティボクシングC－BOX大会、第1回真中建設カップがスタートする。
- ・ 国体県選考会で、後藤選手が勝利するも選考会で落選する。

- 平成21年 ・ 実業団日本選手権に石川、浅井選手が出場する。
- ・ 第4回市長杯C－BOX大会に5団体が出場する。

- 平成21年 ・ 日本少年ボクシング大会で川井勇利が東海地区予選を勝ち抜き見事全国大会出場のキップを勝ち取る。

「現在の活動状況」

活動としては、青少年健全育成と共に選手育成強化を第一に考え、今後の日本をしょって立つ、幼児～中学生を対象に通年にて教室を開催している。また、体力増進、健康増進、美容を兼ね、一般の成人を対象にした教室も、通年にて同時開催している。

また、選手育成にも力を入れ、協会の展望としては、底辺を拡大しボクシング人口を増加させその中で、優秀な選手の発掘、そして強化を同時に進行し将来は、全国の主要大会、インターハイ、選抜、国体、全日本選手権でチャンピオンを輩出する事を最大の

目的とし、着実に徐々にではあるが、実績が出始めている。そして、選手育成、体力増進以外に、市に何か奉仕できる事はないかと地域奉仕活動にも力を入れている。体の不自由な方や、社会問題となっている引きこもりや、不登校者のいる施設を訪問し、ボクシングを利用した運動を通じて少しでも、勇気や自信、そして健康を維持できる活動をして行こうと協会として考え実行して行く所存です。

